

水洗化率の公表について

3月27日、環境省から令和6年度における水洗化率が発表されました。
本県の状況は次のとおりです。

- 水洗化率は「95.6%」（前年度と同じ 全国21位、中四国1位）
※ 対前年度からの伸びは、「0.1ポイント増」

		令和6年度	令和5年度
水洗化率		95.6%	95.5%
(A) + (B) + (C) + (D) + (E)		【全国21位】	【全国21位】
内訳	下水道 (A)	17.5%	17.4%
	農業集落排水施設等 (B)	2.4%	2.4%
	浄化槽	75.2%	75.2%
	合併浄化槽 (C)	(47.3%)	(46.5%)
	単独浄化槽 (D)	(27.9%)	(28.7%)
	コミュニティプラント (E)	0.5%	0.5%

※ 水洗化率については、基本的に令和6年10月1日現在の人口を使用しています。

<参考>

- 汚水処理人口普及率は「69.6%」（全国47位）
令和6年度末 汚水処理人口普及率（R7.8 国交省、農林水産省及び環境省 公表）
汚水処理人口普及率：(A) + (B) + (C) + (E)
上記、「水洗化率」から「単独浄化槽 (D)」を除いたものです。
対前年度からの伸びは、「1.1ポイント増」（全国5位）

- ・トイレの水のみを処理する単独浄化槽は、洗濯物や台所等の水を処理しないまま、直接、身近な水路や川に排水しているため、生活環境が悪化するおそれがあります。
- ・当県は上記表にあるように、浄化槽で水洗化する割合が75.2%（全国1位）と非常に高いことが特徴ですが、このうち単独浄化槽の割合が高いことから、汚水処理人口普及率が低くなっております。